

不可視化される、 女性の、「若者問題」

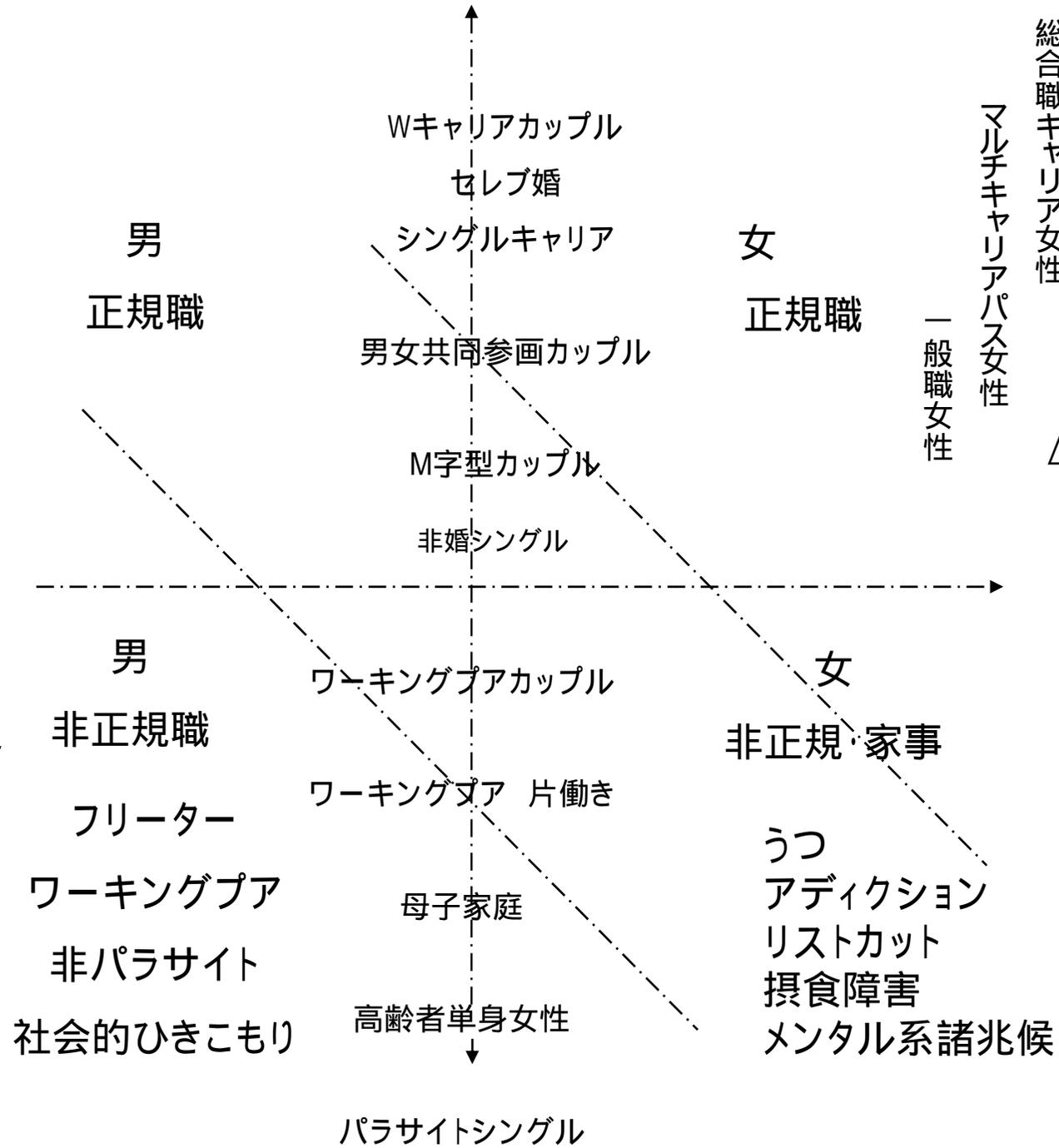
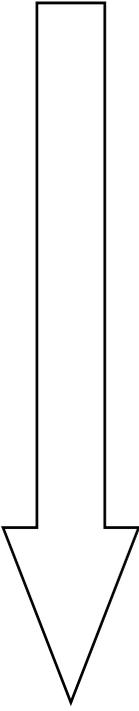
自立不全と生きがたさ、自尊感情の劣化
——女性たちは、いま、どこに？

横浜国立大学
金井淑子

生きがたさのジェンダー非対称性

- 女性問題と若者問題
- 20-24歳層高卒女子に占める正規職の落ち込み
大学卒女子の正規職比率の伸び 女・女格差
- 社会的ひきこもり 男性8割の数字
- 労働への自立を強いる社会
「労働への誘導」が自立なのか？
- メンタル系危機 女性の自立不全
「働け / 産め」イデオロギー攻勢の中で
キャリア・パスへの躊躇
出産(再生産)からの退却
自傷・他罰行為 「自分」からの排除・破壊

男性間(男男)格差

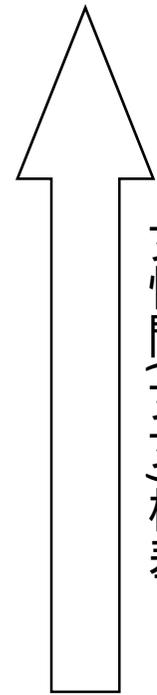


総合職キャリア女性

マルチキャリアパス女性

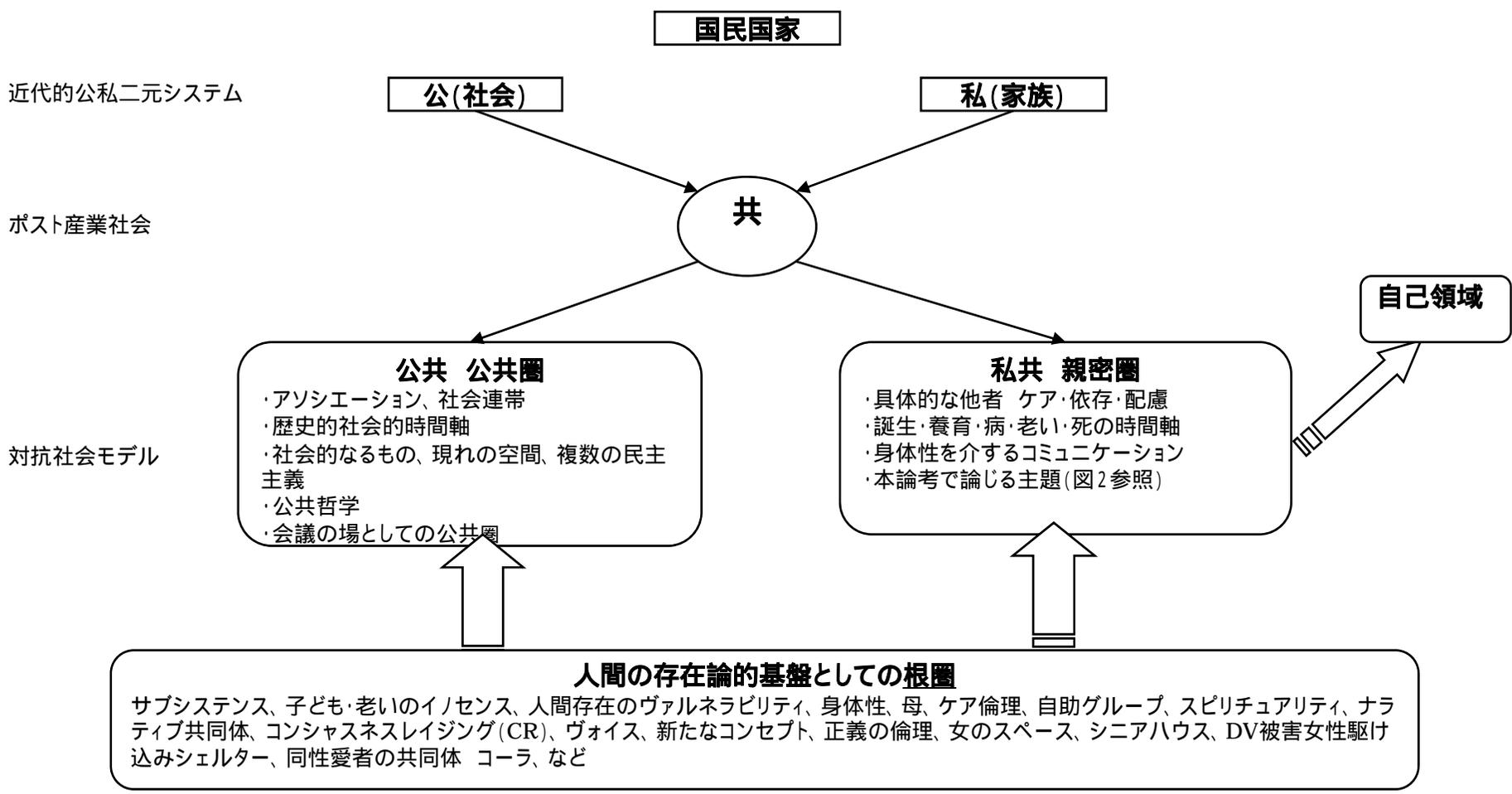
一般職女性

女性間(女女)格差



「若者問題」兆候のジェンダー非対称性に留意した取り組み

- 雇用の劣化、親密圏の劣化
- 難民化する若者
- 家族と社会からの排除
- 女性の自立の困難 自己肯定感・自尊感情の劣化
- 「失業」や「貧困」問題を捉える視点としての、「社会的排除 / 社会的包摂」の概念が取り落としているものは、ないか？



公共圏 / 親密圏 人間存在のセーフティネットの多元的な組み換え

女性の自立支援の課題

- メンタルヘルスケアの観点を踏まえた、包括的支援策体制
- 当事者・親の会・支援者などの自助グループ
- 「女性の貧困」の不可視化に対する実態調査
- 女子の教育・雇用の対応関係のあいまいさ、その実態把握
- 女子のライフデザイン教育・エンパワーメント教育
- 自立課題を、女性の身体と性 / 生への、自尊感情の育みの視点から